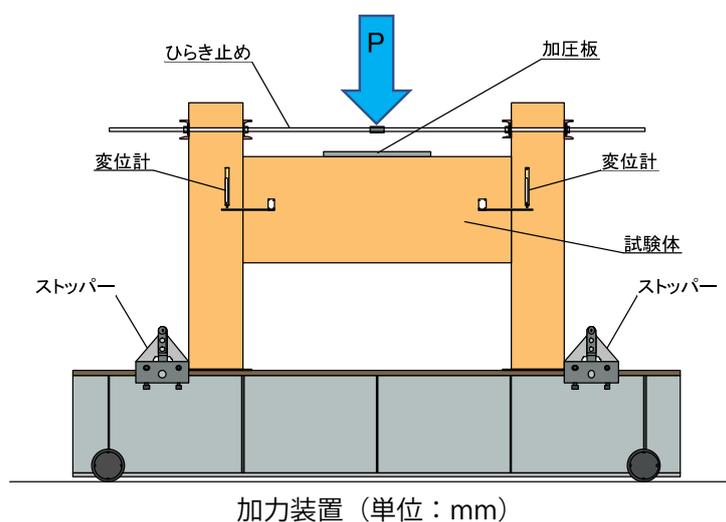
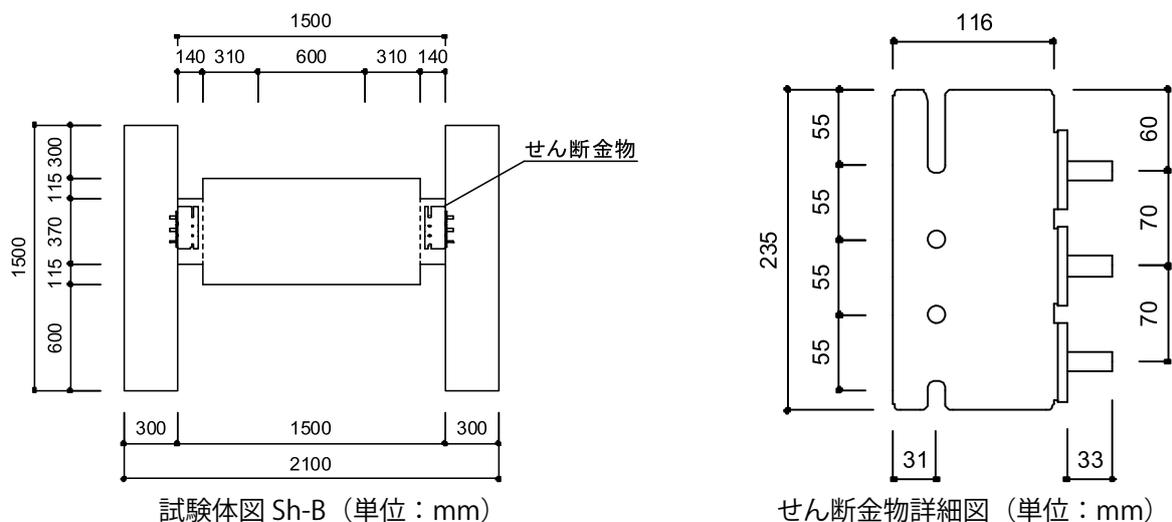


## ● 姿図・寸法



## 【使用材料】

母材：集成材（スギ E65-F225 断面 105mm × 300mm、105mm × 600mm）

せん断金物：カネシン後施工金物 3 ドリフトピン  $\phi$  12

## ● 適用条件

接合部にせん断キーとして用いる。

## ● 概要

105mm × 300mm のスギ集成材にせん断金物を上図の配置で取り付け、ドリフトピンを用いて、105mm × 600mm の集成材を接合した試験体である。なお、この試験体はモーメント抵抗用の接合部のための箱型金物を切り欠いた形状となっている。

試験は一方向繰り返し加力による荷重を加え、繰り返し履歴は、予備試験から得られた降伏荷重変位  $\delta_y$  の 1/2、1、2、4、6、8、12、16 倍とした。

## ● 接合具（メーカー、入手方法）

後施工金物 3（製造、販売：BX カネシン（株））

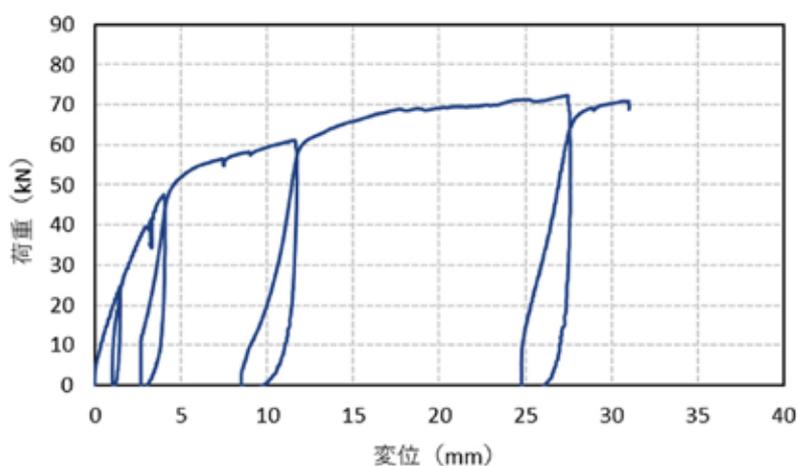
● 問い合わせ先 URL <https://www.kaneshin.co.jp/>

## ●特性値

試験体名	No.	初期剛性 (kN/mm)		降伏耐力 (kN)		最大耐力 (kN)		短期基準耐力 (kN)
Sh-B	1	13.38	12.52	46.87	46.80	72.37	74.79	41.75
	2	13.78		44.79		75.09		
	3	13.26		49.31		80.16		
	4	9.67		46.24		71.54		

ここでの初期剛性は、モーメント－変形角関係における最大モーメントの0.1倍と0.4倍の点を結んだ直線の傾きとした。

## ●荷重 - 変形関係

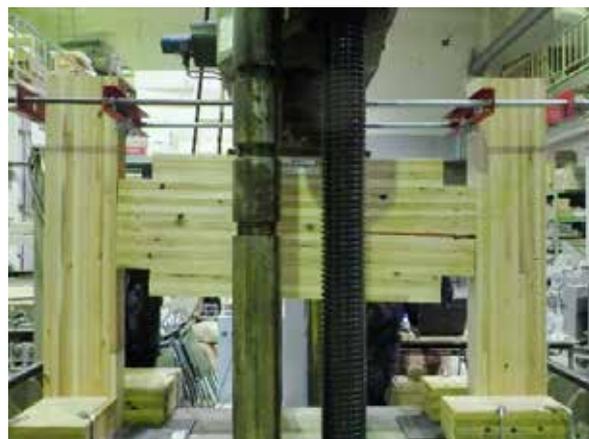


## ●破壊性状

全ての試験体で、梁の割れが生じた。梁の割れは、有効に効く最も下のドリフトピン位置で最初に発生し、荷重の上昇とともに広がっていった。



梁の割れ



梁の割れ